

# かけはし

Vol. 39 H21年3月

第24回ボランティア講習会報告

## ～下志津病院ボランティア通信～

2月4日、第24回ボランティア講習会が開催されました。

今回は後藤学様を講師にお招きし、バルーンアートのワークショップを行いました。初めは、風船をひねってきしむ音にびくびくしていましたが、後藤さんに教わりながら、作ってみると面白く、皆さん歓声をあげながらの笑顔がたくさん見られ楽しい時間になりました。また、今回ここで学んだことを、これからのボランティア活動で広めていただけたらと思います。



軽快なトークと見事なジャグリングで、会場の空気を和ませて下さいました！



後藤さん手から魔法のように作られるバルーンアートの数々！

### 後藤学様のご紹介

後藤さんは、普段は会社員として働いていらっしゃいますが、「おもちゃコンサルタント」という資格をお持ちになり、手作りのおもちゃや、ジャグリングなどを取り入れたボランティア活動をされています。また、「市川ジャグリングサークル (JugJug)」の元代表をされていました。骨髄バンクに登録され、病院で手術を受けられたことがきっかけで、病院でのボランティア活動のご縁ができ、様々な病院をまわられているということです。

当院では昨年9月のロビーコンサートや11月の重症心身障害病棟での行事に出演していただいたりしています。後藤さんを心待ちにしているファンもいるほどです！



### 〈ボランティア感謝状授与式〉



ボランティア表彰式では、4年以上8病棟での外出活動に付き添っていただいていた今泉和雄様と、当院でのミシン・布きりボランティアの活動が13年という青木弘子様、心から感謝を申し上げ、院長より感謝状を、看護部長より記念品をお贈りしました。



ボランティア活動10年表彰者 青木弘子様



青木さんは13年間、毎月第2金曜日に11病棟のプレイルームに集まり、患者さんの衣類の改良や、ミトン・エプロンなど、ミシンを使って作るボランティア活動をして下さっています。

いつも、素早く丁寧に作ってくださり、青木さんが作製して下さった物は、患者さんのために大切に使用していただいています。

このボランティア通信は、平成12年に創刊されましたが、青木さんは第1号から全て持っていらっしゃるということをお聞きし、13年という長い月日を改めて考え、本当に頭の下がる思いがしました。

本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします！



12病棟登録ボランティア 青木弘子様

<重症心身障害病棟 行事「節分会」の様子>

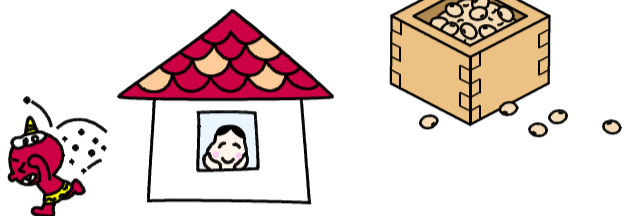


1月31日・2月2日・2月3日の3日間、3つの重症心身障害病棟をオニたちが周り、節分会を行いました。

ボランティアさんにもお手伝いをしていただきながら、一緒に豆を作るところからスタートです。折り紙を、手の平でクシュクシュと丸め、感触を楽しみながらの豆作りです。

年男・年女の皆さんが袴をまとい、中心となってオニに向かって手作り豆を投げました。

また、自分の中に住むオニをみんなで発表し合い、「泣き虫オニ」や「食いしん坊オニ」「緊張オニ」「太リオニ」など、それぞれの色々なオニが退治されました！



●●● <筋ジストロフィー病棟 (8病棟) 春の便り> ●●●



こちらは、ボタンの苗です。→冬の冷たい風から守るためにボランティアさんが、竹を使って手作りの風よけを作ってくださいました。また、この花壇に良く陽が差し込むように木の枝を払ってくださいました。これから花が咲くのが楽しみです。いつもありがとうございます！



春が来るのが待ち遠しいです

8病棟の花壇では、菜の花が満開で、一足早く春を感じさせてくれています。

菜の花は、千葉県の県花でもあります。鮮やかな黄色が、心を元気にしてくれる気がしますね。

●●● <小児病棟での一コマ> ●●●

2月のボランティア講習会に参加してくださった小児病棟登録ボランティアの野口さんが、さっそく子どもたちに、バルーンアートを紹介してくれました。子どもたちは、豊かな発想で、風船を頭にまいたり、風船刀でチャンバラごっこをしたりと、にぎやかに楽しく遊ぶことができました。ありがとうございます！



下志津病院では、ボランティアさんを募集しています！

問い合わせ先

電話 043-422-2511

アドレス shidou@simosizu2.hosp.go.jp

受付時間 平日 9:00~17:00

下志津病院ボランティア委員会発行